

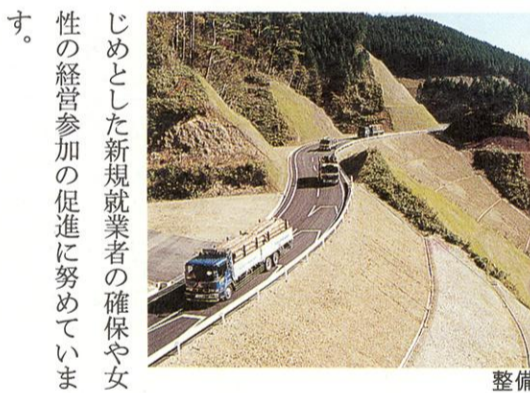


ゆとり、よび、うるおいを高める。21世紀に向けての農林水産業づくりを取り組んでいます。

産業としての高度化を図ること。そして、優れた経営感覚や技術を持った自立経営体や生産組織を育成、確保し、そこで働く人々の就業条件の改善を図ること。農林水産業が持つこれらの課題に対し、県では、機械化や技術の開発・向上の促進を

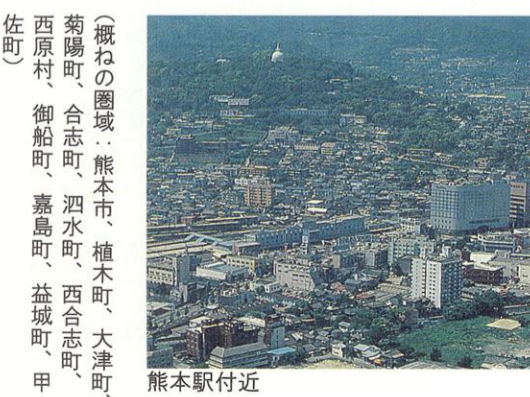


自動給餌システムなどを備えた沖合養殖パイロットファーム(八代海)



整備が進む大規模林道

図り、併せて就業環境や労働環境の改善や、休日の確保などを行っています。また、若い後継者をはじめとした新規就業者の確保や女性の経営参加の促進に努めています。



熊本駅付近

情報ひろば

県庁へお越しの皆様へ(公共交通機関利用のお願い)

熊本県では、現在、新庁舎や駐車場を建設しております。そのため、駐車場や構内道路が大変混雑し、御来庁の皆様へ御迷惑をおかけしております。

県庁に御来庁の際は、混雑緩和のために、できるだけ公共交通機関を御利用いただきますように御協力の程お願いします。熊本県総務部管財課

守ろうふるさとの自然 環境を守る行動のポイント

わたしたちの暮らしは地球の、そして地域の環境につながっています。

- ①必要以外のものを買わない
②できるだけ環境に良いものを選んで使う
③ものを長く使う工夫をする
④無駄なく使う工夫をする
⑤捨てる量を減らす
⑥できるだけリサイクルする
この6つのポイントを頭に入れて、わたしたち一人ひとりで環境に配慮して行動しましょう。



優しさや豊かさにあふれた地域づくりが進行中です。



人や物が行き交う拠点に。九州、アジア、そして世界への広域交通システムが充実します。

九州縦貫自動車道の全線開通(七月二十七日)をはじめ、熊本を取り巻く交通網は着実に整備が進められています。道路交通網の整備については、九州縦貫自動車道の全線開通により、九州の「縦の軸」ができたわけですが、「大分・阿蘇・熊本」「熊本環状」「熊本・本渡」の三つ



九州縦貫自動車道「人吉〜えびの」開通式



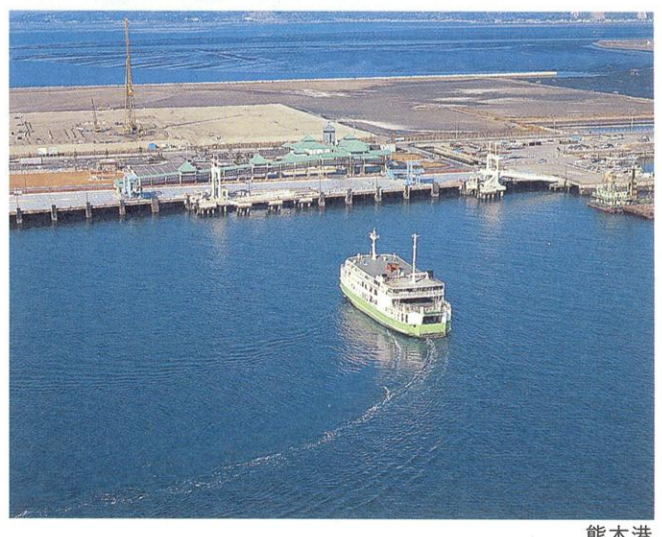
建設が進む南九州西回り自動車道



線整備に向けてまた一歩前進しました。全線が開通すれば、熊本・博多間が次世代型新幹線で二十四分、熊本から大阪まで二時間台、東京まで四時間台と、人々の行動範囲もさらに広がることになります。観光や企業誘致にもかな



熊本空港



熊本港

りの波及効果が期待される新幹線の波が一本につながり全国を縦断する瞬間は、確実に近づきつつあります。平成五年三月に開港した熊本港では、開港後も施設の充実化が図られています。熊本県地域輸出入促進計画(熊本FAZ)の海の玄関口としても役割が期待されています。一方、熊本空港は、この秋、IL

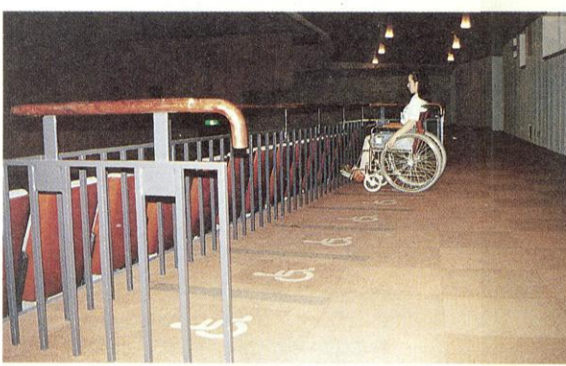
S(計器着陸装置)カテゴリIIIが国内で初めて導入され、霧の影響による欠航が大幅に減少します。今後も、県では、国内外とを結ぶ交通網の形成と、空港、港湾の拠点機能の充実を図り、それらの各拠点へのアクセスを強化するなど、相互の利便性を図りながら、総合的な交通体系を整備していきます。



だれもがいきいき暮らせる社会をつくらう。「やさしいまちづくり」が広がっています。



改良事業で敷設した誘導ブロック(健康センター)



県立劇場に設置した車いす用観客席

県民だれもが共に安心して生活していける社会をみんなでつくろう。全国より十年早く高齢化が進んでいる熊本県では、「やさしいまちづくり条例(正式名称:熊本県高齢者及び障害者の自立と社会的活動への参加の促進に関する条例)」を定め、「高齢者・障害者」ひいては県民だれもが共にいきいきと暮らせるような社会、「づくり」に取り組んでいます。この条例では、お年寄りや障害者



こころコンサート(H5.4.25)



菊陽町で開催された車いすロードレース(H6.9.10)

者の自立と社会参加を妨げる様々な障壁を取り除くために、県、市町村、県民及び事業者が取り組むべき事項を次のように明らかにしています。

①県民及び事業者の意識づくり これは、お年寄りや障害者の方々に対する理解不足などから「特別な目で見よう」という意識上の障壁を取り除こうというもの。テレビや新聞などを使った広報活動や、ボランティア活動あ

るいは児童・生徒に対する福祉に関する学習を推進することにより、県民の理解を深めていきます。②社会環境の整備 これは、雇用や教育など、高齢者や障害者が受け入れられにくい社会制度における障壁を取り除こうというもの。また高齢者・障害者がスポーツや文化活動に参加できるようにしたり、情報や防犯等における障壁も取り除いていきます。



人吉校が開校します。



経済、教育、文化の中心。九州の拠点として熊本都市圏を整備していきます。

熊本市を中心とした熊本広域都市圏は、九州の拠点として、また、熊本県勢が発展していくためのけん引役としてその役割が期待されています。

その方向性に一定の道筋をつけていきます。また、アクションプログラムに盛り込まれた事柄の中で、より具体的な調整を要するものについて、引き続きフォローアップを行うとともに、都市圏整備の必要性を住民の方々に認識してもらうため、シンポジウムの開催等を行います。

情報ひろば

県庁へお越しの皆様へ(公共交通機関利用のお願い)

熊本県では、現在、新庁舎や駐車場を建設しております。そのため、駐車場や構内道路が大変混雑し、御来庁の皆様へ御迷惑をおかけしております。

県庁に御来庁の際は、混雑緩和のために、できるだけ公共交通機関を御利用いただきますように御協力の程お願いします。熊本県総務部管財課

守ろうふるさとの自然 環境を守る行動のポイント

わたしたちの暮らしは地球の、そして地域の環境につながっています。

- ①必要以外のものを買わない
②できるだけ環境に良いものを選んで使う
③ものを長く使う工夫をする
④無駄なく使う工夫をする
⑤捨てる量を減らす
⑥できるだけリサイクルする
この6つのポイントを頭に入れて、わたしたち一人ひとりで環境に配慮して行動しましょう。